

くるみ乳児院だより 第26号

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 発行責任者 川守田 繭美

〒538-0054 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL:06-6180-5062



◆くるみ乳児院のめざすもの◆

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本としています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。

後援会からのお願い

『2023年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にす本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、皆様のご協力で、すでに12施設程の建て替えを、することができました。国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

今後も大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。

*個人会員 1口 3,000円 *団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院(06-6180-5062)までご連絡ください。

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。

『ショートステイ事業』

(大阪市の事業)

父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をとまなかたちでお預かりしています。利用年齢は2歳未満です。感染症の関係等でお預かりできないこともあります。詳細についてはお問い合わせください。

これからの行事予定

10月 遠足

11月 七五三

12月 クリスマス会



福祉のひろば

あなたも福祉が好きになる!!
そんな1冊を手に取ってみませんか?



職員も福祉のひろばを使って学びを深めています。

興味のある方は下記まで問い合わせ
〒538-0054
大阪市鶴見区緑1丁目18-30
TEL:06-6180-5062
くるみ乳児院 福祉のひろば係: 仲



ご寄付ありがとうございます



- 明治ホールディングス株式会社様 液体ミルク
 - P&G ジャパン合同会社様 紙おしめ 洗剤
 - 金城商店様 寄付金
 - 平井 良栄様 大型絵本 絵本 ハンドベル
 - 稲垣 歩様 (Dimple Port Coffee) 絵本
 - 7月18日 匿名の方より 寄付金
- たくさんのご寄付、誠にありがとうございました。

2023年度の福祉まつりについて

テーマ『みんなで築こう! 平和で安心して暮らせるまちを』

サブテーマ『つながろう 楽しいまつりの共有を』

今年度は食べ物やゲームの模擬店を出店したり、平和や暮らしなどそれぞれテーマをもとにした広場での催しを考えています。

日時: 2023年11月12日(日) AM10:00~PM2:00

場所: 城東区古市1-21-41 職員共済会館うえるほろ周辺

「安心して子どもが育つ社会を目指して」

8月末に社会福祉に関わる研究交流集会有りました。くるみ乳児院からも数名参加し、くるみ乳児院での相談支援について発表する場を頂きました。

シングルの方からのSOS。切羽詰まった声に伝えたいけれど、施設の定員が満床であるとか、新型コロナウイルスの関係で受け入れることができないという理由でお断りすることが多くありました。何とか助けたいけどできないというジレンマを感じつつ、他機関との連携で助けられたケースもありましたが、心配になったケースもあり、人と場所があればと何度も感じました。

平成28年改正児童福祉法や「新しい社会的養育ビジョン」(平成29年8月厚労省)の提言内容を踏まえて、「都道府県社会的養育推進計画の策定」(平成30年7月厚労省)が義務付けられました。乳児院にさらなる高機能化や多機能化を求められ、キーワードは「センター化」です。

これまで、乳児院では経済的な理由や病気、ひとり親等で養育困難、不適切な関わりなど様々な理由でお子さんをお預かりしています。私たちは、保育士、看護師、心理士、栄養士等専門職がチームとなって、子どもと親を支援してきました。また、子どもの育ちが一つの道筋となるように、児童養護施設や里親に子どもの育ちをつなぐことを重視してきています。様々なニーズにこたえながら、子どもが安全に安心して育つための支援を今後も進めていきたいと考えます。

子どもたちが地域の中で健やかに育つために、「センター的な役割」が求められていますが、これまで積み上げてきた乳児院の役割、実践を活かしつつ、予防的な支援や専門的な支援を取り組めるよう、子どもを取り巻く情勢に目を向けて、どんな支援をしたいのかしっかり話し合いながら、地域の子育て支援に取り組んでいきたいと思ひます。

施設長 川守田 繭美

夏のお出かけ

今年の夏のお出かけは「神戸アンパンマンこどもミュージアム」に行きました。

お部屋にあるテレビやおもちゃなどでアンパンマンを知っている子どもがたくさんいたため、アンパンマンミュージアムにつくと大人の手を離して走り出しそうになっており、ワクワクした様子でした。

ミュージアム内では動かすと絵が変わる玩具があり、たくさん動かして「アンパンマン！」と指差ししている子がいました。バイキンマン秘密基地では「わんぱくスペース」でたくさん登ったり、すべったりしていました。最後に、やなせたかし劇場を見ました。子どもたちはテレビなどでしか見たことがなかったので、実際に動いているアンパンマンたちを見ると一瞬固まっていたのですが、徐々に楽しそうに見ていました。帰りの電車は遊び疲れたのかぐっすり寝ていました。付き添った職員がアンパンマンの夢でも見ているのかなと穏やかな子どもたちの寝顔を眺めていました。



ひとりで
のぼれたよ



保育士 きんじょう

七夕まつり

7月7日、保護者の方にも参加していただき七夕まつりを行いました。当日はヨーヨー、わなげ、織姫と彦星の顔はめパネルで遊び、ミルクせんべいなどお祭りならではの食べ物を食べました。参加したみんなの笑顔がたくさん見られ、おなかもいっぱいになり、しあわせな時間となりました。また、去年に引き続き地域との交流を目的とした笹を、子どもたちと一緒に地域の方に渡しに行きました。笹を渡すとみなさん笑顔で「ありがとう」と言ってくださったので子どもたちは嬉しそうにしていました。ご協力ありがとうございました。



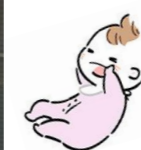
ほっこりひろば

地域の子育て支援として「ほっこりひろば」を開室しています。

新型コロナウイルスの影響で開室できない日が続きましたが、2年ぶりに今年の6月に開室する事ができました。今回初めて「緑ふれあいの家」をお借りして行いました。広々とした会場で、参加者も喜んでいました。七夕に向けて七夕飾りの制作コーナー・自由遊びのコーナーやフォトコーナーで親子でゆっくり楽しく過ごしてもらえました。

9月には絵本の読み聞かせやペープサートなどを親子で楽しんでもらいました。12月にはクリスマス会を計画中です。

今後も、地域の方との交流を大切にしていきたいと思います。

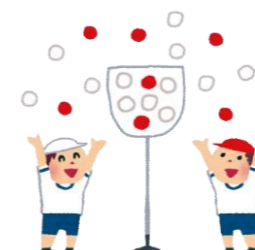


くるみ運動会

9月9日に子どもと保護者が一緒に取り組める遊びを通して、親子の絆を深めてもらうことを目的とした行事、親子で遊ぼう「くるみ運動会」を行ないました。昨年まではコロナ禍だったこともあり、保護者参加の親子であそぼうが開催できずにいましたが、今年は久しぶりに保護者参加で行なうことができました。

運動会では坂道やトンネルなどの障害物を乗り越える障害物リレーや玉入れなどを行ない、最後には子どもたちへ保護者の方々からメダルの授与もしてもらいました。

「よくがんばったね」とたくさん褒めてもらって子どもたちも誇らしげな表情をうかべていました。子どもたちからも保護者へ「いつもありがとう」とメダルを渡してもらい、保護者の方と子どもたちの成長を見ることができました。



アンパンマンの
玉入れ上手だね!



保育士：にしむら